

6面 怒れる大女子会！
もういい加減にして「オッサン政治」！



由井晶子

Akiko Yui

profile

1933年那覇市生まれ。1951年進学のため上京。1955年沖縄タイムス社入社。1981~83年の本社勤務を除き、1990年まで東京支社在勤。論説委員、編集局長を経て1997年退任。現在は、フリーで女性運動、市民運動を取材。「沖縄建白書の実現を目指し未来を拓く島ぐるみ会議」共同代表。

写真提供：大木晴子

自己決定 を宣言した 沖縄



2013年1月28日、翁長雄志那覇市長をはじめ、全県41市町村長・同議長、県議会議長と全会派代表つまり全行政・議会の代表者たち、主な社会団体・商工会代表等々は、自筆捺印した「建白書」を携えて「東京行動」の後、安倍首相に直接手渡した。建白書は、超党派の県民大会に基づき「オスブレイの撤去」「普

屈辱にまみれ、やりきれない憤りに満ちて最悪だった2013年の年末とは打って変わって、晴れやかな2014年末だった。

2013年1月28日、翁長雄志那覇市長をはじめ、全県41市町村長・同議長、県議会議長と全会派代表つまり全行政・議会の代表者たち、主な社会団体・商工会代表等々は、自筆捺印した「建白書」を携えて「東京行動」の後、安倍首相に直接手渡した。建白書は、超党派の県民大会に基づき「オスブレイの撤去」「普

The Young Women's
Christian Association

YWCA

日本YWCAの使命(ミッション)
イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する
世界の人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

第31総会期主題
平和を実現する人々は幸いである—マタイによる福音書5章9節

2

FEBRUARY
2015

No.724

www.ywca.or.jp

日本YWCAビジョン2015

- ・非核・非暴力により平和を実現する
・平和憲法をまもり、世界に広める
・原宿のない社会をつくる
・市民レベルで東北アジアの信頼関係を築く
- ・女性と子どもの権利をまもる
- ・若い女性のリーダーシップを養成する

沖縄の大多数の県民にとって疾風怒濤の2014年が過ぎた。「選挙に勝って、いい正月を迎えよう」を合言葉に、保革の枠を取っ払い、かつてない新しい枠組みで結集して、必死の1年だった。

1月の名護市長選に始まり、同市議選、県知事選、県議補欠選、那覇市長選、そして12月の衆院選。全ての選挙において、普天間飛行場の代替施設、辺野古新基地建設反対・阻止勢力が勝利を収めた。年末には、1年前のあの言葉を自分たちのものとするところまできた。仲井眞弘多前知事が、東京で安倍晋三首相と会談し、普天間の5年以

内の運用停止、一括交付金の増額などの成果に満足し、「いい正月を迎えられる」と言った、あの言葉である。

仲井眞前知事は、帰任すると公有水面埋め立てを承認し、県民を怒りに振るい立たせた。1年後の2014年12月9日、任期4日を残した仲井眞知事は、沖縄防衛局の埋め立て工事工法変更申請を承認したことに抗議する市民らの怒号渦巻く中、県庁を後にした。

翁長雄志新知事は12月10日、県庁入りして、さっそく「辺野古に新基地をつくらせないことを県政の柱とする」と宣言した。11月16日の投票で当選決定と同時に、名護市と辺野古の闘争

現場を訪ね、市民たちと喜びを共有している。衆院選で、公約破りの全ての自民候補に勝利した4人の「オール沖縄」赤嶺政賢(共産前職)、照屋寛徳(社民前職)、玉城デニー(生活前職)、仲里利重(新)氏らも、辺野古に駆けつけた。

翁長知事は、県内の国の機関をはじめ、過剰警備で強引なボーリング調査を選挙のため一時休止している沖縄防衛局、外務省沖縄事務所、米側の4軍調整事務所、米総領事館を訪ねて、「辺野古新基地反対の民意で選ばれた」「普天間飛行場を早期返還してほしい」と、就任あいさつした。年内にも

天間飛行場の閉鎖・県内移設反対」を訴えたものだ。署名しなかったのは仲井眞弘多知事（当時）のみ。それから1週間もたっていない2月3日、安倍首相は第2次内閣組閣、就任以来初めて沖繩へ来た。安倍首相は建白書には触れず、仲井眞知事と親しく会談した。6月23日沖繩慰霊の日の県主催沖繩戦戦没者追悼式典では、仲井眞知事は、2期目の2010年選挙で公約に掲げた普天間の「県外移設」要求を知事式辞に盛り込んでいる。

この頃、仲井眞知事は、東京で沖繩市町村長らの建白書行動団に「売国奴」「支那の手先」「日本から出て行け」と罵声を浴びせたいわゆるネトウヨ（ネット右翼）から「中国人知事」と激しく誹謗・中傷されている。仲井眞氏は、明・清時代の中国から琉球に幾時代にもわたって移住してきた華人の街久米の出身。帰化して琉球王国の宰相も出した名門家系の末裔である。もちろん近代は完全に日本化している。

一方、普天間基地周辺を拠点に、辺野古の埋め立て承認を促す大署名運動（8万人が署名）が起こり、仲井眞知事に圧力をかけた。この運動は、平沼赳夫議員（次世代の党党首）に代表される右派政治勢力、日本会議、神道政治連盟などが、基地と引き換えに投下される振興資金に群がる、名護市の開発マニアともいべき土木業・商工業者などと結んで起こしたものだ。

その後、明治の琉球処分官よろしく、

石破茂自民党幹事長による自民国会議員の「県外移設」公約を覆した記者会見を経て、知事の埋め立て承認への経過は知られる通り。2014年に入つて、建白書を実現する超党派の「島ぐるみ会議」結成が幅広い人々の賛同を得た。しかし、その一方で、仲井眞知事による埋め立て承認感謝集会在前記の人々によって開かれ、極右の女性論客による基調講演で幕を開けたことは知られていない。仲井眞氏の知事選出馬に際し、後援会組織結成大会が、沖繩でかつて聞いたこともない純日本方式の神式行事で行われたことも知る人ぞ知る事実だ。沖繩の今後を考えると、こうした複雑な背景も知っておく必要がある。

2014年の全選挙勝利は、「新基地建設ノー」の民意を内外に示したにとどまらない。振興策と引き換えに米軍基地の維持を図ってきた、アメとムチの政府の基地政策への決別宣言である。また、沖繩のことは沖繩が決める「自己決定」の主張であり、少数派の言い分に耳を傾けない政府の差別政策への不信任を突きつけた勝利なのだ。1609年の薩摩の侵攻、1879年の琉球処分と、日本の支配に屈して、自らの運命を決めきれなかった歴史を変えざる革命だという識者もいる。同時に本土の日本国民への問いかけでもある。

政府の差別に決別宣言をした沖繩とは全く違う方向に動いている日本。

2014年12月10日特定秘密保護法が施行され、自民党・与党は衆院選に大勝して、安倍政権はいよいよ平和憲法「改正」も視野に入れた長期政権になりそうだ。自公大勝の余波は沖繩にも及んでいる。大多数の有権者に「公約違反は許せない」と不信任を突きつけられて小選挙区で落選した自民の前職議員が、比例代表で全員復活当選した。与党・政府の分断戦略に引っかけたという思いは消えない。翁長知事は、彼らも民意に従って協力してほしいと述べている。県民も強く望んでいる。政府は巨大与党の力で、また県民分断を図るのか。歩み出した翁長県政の行く手は厳しい。

1999年に辺野古沖に海上基地を建設する計画が強引に推進された当初は、地元のお年寄りによる「命を守る会」やヘリ基地反対協議会の役員、平良牧師・悦美夫妻らを中心に、細々とした集会が継続されていた。今、県民大多数の力になって、政府と対峙するに至ったのは、各分野で、あきらめない人々が知恵を絞り、長い闘いを積み上げてきたからである。オール沖繩に結集した力を分散してはならない。歴史を逆に回そうとしている自民・政府の暴走と、沖繩への圧力を止めるために、「本土」でも、あきらめない人々が力を尽くしてほしいと願う。

*この記事は、2014年12月24日に執筆されました。

種

主の真実は代々に及ぶ

（詩編 100章5節後半）

わたしは神学校のほか高校でも聖書を教えてきました。十代の生徒から出るキリスト教への批判は率直で辛辣です。「アーメン」は祈りの最後に「その通り」という意味と教わると、「キリスト教はアーメン、アーメンと言つてばかり」「アーメンって思えない時も言わされる」と始まります。確かに彼女たちは「アーメン」とは言えないことに困まれています。不安定な人間関係、裏切り、猜疑、受験のストレス、病氣、事故、災害…。世界では暴力と搾取が続いています。「世界はちつともアーメンでない！」という言葉は、的を射ています。

「主の真実は代々に及ぶ」をわたしはヘブライ語から「時が巡り、巡つても、ヤハウエは真理」と訳します。「真理」は、アーメンという語にあたる「エメト」です。これは、「その通り」という承認や賛同ではなく、悲惨で不具合なことが目の前にあつても、ヤハウエの真理がここにありまうようにという祈り、叫びと解せませぬ。認め、同意するよりも、もっと積極的で動的な言葉です。真理がありますようにという願いを込めて語られる言葉、それがアーメンです。

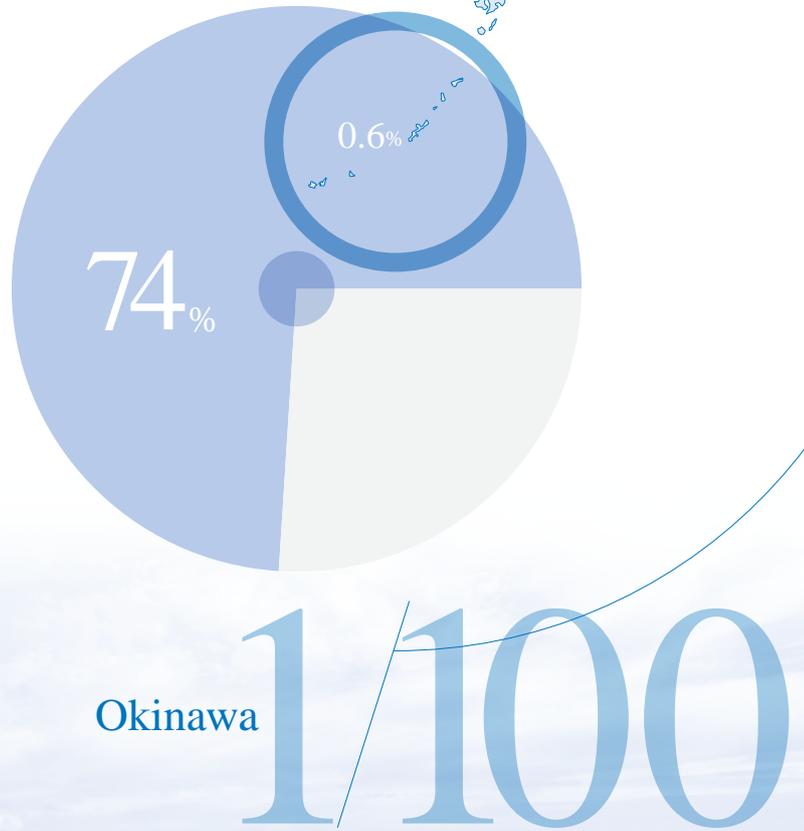
この説明で彼女たちはこんな素敵な言葉はないと喜んで口にしていきます。積極的な世界への訴え、彼女たちのアーメンを聴いて、わたしも押し出される思いで働いています。

渡邊さゆり

日本バプテスト神学校教務主任



知事選勝利と これからの 沖縄



2014年11月16日、注目を集めた選挙に沖縄は勝利した。辺野古新基地建設反対の知事の誕生。圧勝だった。しかし、政府は「肅々と」工事を進めると表明。沖縄の民意は無視され続けている。

2013年9月、辺野古反対の公約を覆させられた沖縄選出の国会議員を従えた記者会見。石破幹事長の満面の笑み。その姿は、1879年(明治12年)に武力で日本に併合された時の処分官と重なった。その後、積極的に政府の

意向を体現する議員も現れた。国会議員に続き、自民党沖縄県連・沖縄県知事と日本政府に屈し、知事は振興策に喜び「いい正月を迎えられる」との発言までした。県民の怒りは沸騰した。

オール沖縄。基地問題に限らず、教科書への沖縄戦記述改ざん(住民虐殺や集団死への日本軍の関与の否定)など、その都度、県民大会を開き政府へ抗議・要請を繰り返してきた沖縄。聴く耳を持たない政府・無関心な大多数日本人に対し、保革を越えて一致でき

るところで意志表明せねばとの思いが結実した。

「基地で沖縄経済は成り立っている」ことのまやかしに、沖縄人は気づき始めていく。若い世代は、生まれた時から身近にある米軍基地は沖縄の風景と思っていたことの誤りに気づき始めた。民主党政権で一時ではあったが「基地は県外」との首相の発言は、本土では死語でも沖縄では生きている。日本の人口の1%、国土の0.6%に過ぎない沖縄に、米軍専用施設の74%が押し付

けられている。加えての自衛隊基地は、尖閣諸島の国有化により中国を刺激し、島嶼防衛の名のもと増強が目論まれている。沖縄は再びの戦場を引き受ける訳にはいかない。

11月末に観光でマレーシアに行ってきた。マラッカに立ち海峡を眺めて、大交易時代の琉球を思った。東南アジアの海がポルトガルに支配される前、中継貿易で栄えた琉球の民はレキオ人と呼ばれ、かの地の人々から尊敬されたという。時を経て今、沖縄は日本とアジアを繋ぐ物流のハブ(空港)となっている。日本の地図では沖縄は周辺だが、アジアに目を向けると真ん中に位置する。軍事でなく、交流・共生のキーストーン。沖縄はそれを目指し始めている。

基地返還跡地は那覇の新都心で、収入11倍、税収15倍、雇用1100倍となった。1%の声に99%はどう応えてくれるのか。日本政府を動かすには国民の選択が鍵となる。衆議院選挙が希望に繋がってほしいと、切に願っている。

沖縄YWCA会長 大城美代子

*この記事は、衆議院選挙前の2014年11月末に執筆されました。

日本YWCA「きちきちニュースレター」8号(2014年12月)より転載。

基地問題に取り組む各地のYWCA



京丹後市でXバンドレーダー配備・運用開始

2014年5月27日の朝、京都府・京丹後市宇川で米軍基地建設の着工が強行された。抗議の声も虚しく、10月21日には「Xバンドレーダー」が搬入されてしまった。ミサイルの捕捉や追撃ミサイルの誘導に使用されるレーダーで、12月26日、本格稼動した。

京都YWCAは着工2週間前にスタディツアーを実施し、現地を視察。また、抗議文を提出し、反対の意を表明してきた。抗議イベントへの参加、京都市内でのビラまきや街頭行動等も継続している。

海、棚田など美しい景色が見どころの宇川。建設後、自然が破壊され、兵士が銃を持つ姿などが見られ、変わり果てた街の姿がそこにはある。

住民からは、レーダー用の発電機の騒音に対して苦情が出ている。最

近では、米軍関係者が電柱に衝突する交通事故があった。京都府警は「軽微な事故のため公表はしない」と、住民の安全・安心ではなく、米軍を守る姿勢だ。防衛省や地方防衛局も何を聞いても「わかりかねます」の



棚田から見える米軍基地

一点張り。そんな態度にも京都府や市は一切問い詰めることはしない。

米軍基地建設反対を訴え続けることが、現実には起きている問題に対して、責任追及・事実解明を促す鍵となることは間違いない。あきらめずに声をあげ続けることが重要だ。京都市内に住む人々が基地建設について知らなすぎることも問題だ。他団体と連携し、京都府・市に対して十分な情報公開を要請する必要がある。

京都YWCA会員
菅谷菜穂

呉の基地に見る日本の軍備拡張

広島県・呉市の海上自衛隊基地を訪れた人の誰もが、日本が再び戦争に向かっていくことを実感するだろう。現在、呉を定係港とする艦船は42隻。内訳は、大型護衛艦（戦時は駆逐艦と呼ばれていた軍艦）、大型輸送艦、米軍艦に給油したことが米国資料の開示で分かった大型補給艦等々。まさに「バラエティに富んだ軍事基地」に変貌している。しかも新建造艦は、「いせ」「いずも」といった戦前の軍艦の名称を復活させつつある。今年、大型艦船等が係留できる栈橋の一つが約2倍に延長された。呉も、オスプレイ等も搭載できる空母型艦船が入れる岩国・沖繩並みの「軍港」となりうるということである。どれだけの人がこの事実を認識しているだろうか。

呉YWCAは、基地のないヒロシマを目指して平和船団による海上からの抗議行動を行う「ピースリンク

広島・呉・岩国」と協力し、中高生などの基地見学案内、戦争体験者の証言を聞く会、呉市民の連続学習会等を行ってきた。呉YWCAはまた、基地への抗議行動のほか、会館を平和学習の場として市民に提供している。これまでに、地域の女性たちの「憲法カフェ」や、戦時中瀬戸内海の大久野島にあった毒ガス工場についての市民学習会等が開かれた。

現在、「国家安全保障基本法」を大枠に、「特定秘密保護法」の法制化、集団的自衛権容認の閣議決定等、戦争参加への外堀は既に埋められている感がある。それでも、私たちは「決して戦争をしない」という誓いと共に闘ってゆきたいと思う。それが、先の戦争で心ならずも死してゆかねばならなかった人の願いを聴くことである。

呉YWCA会員 木村浩子



平和船団による抗議行動

写真提供：ピースリンク広島・呉・岩国



被支配者から 交渉の主体へ

基地の島グリーンランドの 戦後とこれから

高橋美野梨

日本学術振興会特別研究員
(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター)

グリーンランドが軍事基地の島であることは、日本ではあまり知られていません。グリーンランドはデンマーク王国の自治領です。デンマークという国家の一構成員として、一定の自己決定権を持っていますが、本国デンマークが属するNATOの米国を中心とした軍事戦略の中で、北米・旧ソ連の中間に位置するその地理的な特性のために、周辺の被支配的な立場を余儀なくされてきました。全土に米軍基地が広がり、住民の意思に反して核も配備されてしまったグリーンランドと、在日米軍基地の7割以上が集中している沖縄の状況は極めて類似しています。被支配的立場を解消し主体性を取り戻すためのグリーンランドの努力とこれまでの成果について、専門家に寄稿していただきました。



西側の軍事戦略における グリーンランドの重要性

極北の島グリーンランドでは、第二次世界大戦を契機として、多くの米軍基地及び気象観測所等の施設が建設された。それらの多くは、冷戦期あるいは冷戦終結を経て、閉鎖されるか民間転用された。しかし、チュール空軍基地（以下チュール）は、在外米軍基地の資産評価額世界第6位という規模で今もなお存在している。冷戦期、チュールには、ソ連に対する西側諸国の前哨基地として遠距離早期警戒線が設置され、冷戦終結後は、大陸間弾道ミサイルに対応する軍備を持つ基地として、北大西洋防衛の拠点の一つとなっている。同じ北極圏のアイスランドの航空基地が2006年に閉鎖されたのとは対照的に、チュールには、ミサイル防衛の機能を強化すべく多額の予算が投じられている。

チュール空軍基地の核武装化

グリーンランドは、チュールをめぐり、さまざまな問題に直面してきた。1940年代には、基

地建設に伴い住民が移住を強いられ、50年代には本国デンマークと米国との間で基地利用に伴う「事前協議」の必要性も議論された。60年代には、水素爆弾4個を搭載した軍用機が墜落し、放射能汚染の現実と向き合うこととなった。また同時期、グリーンランドは領土内への核の持ち込み・配置を禁止する政策をとっていたにも関わらず、核が配備された。70年代以降、米ソによる核兵器開発がエスカレートすると、地理的にワシントンとモスクワの中間点に位置するチュールは、ますます軍備強化されていった。

80年代後半になって、研究者による聞き取り調査や機密扱いとなっていた外交文書の公開が進んだことよって、冷戦期に起こったさまざまな事実が明らかにされ、チュールが、米国土土を防御するための主要な発信地・経由地として位置づけられていたと同時に、東側諸国に対して核兵器を使用する可能性を有していたことがわかった。

被支配的状況の解消を目指して

チュールをめぐる事件・事故の全体像が明らか

になったことで、自身の置かれた被支配的立場を解消するための方策を考えるようになったグリーンランドは、本国デンマークではなく米国の支配性、非対称な権力関係に問題の本質を見た。グリーンランドが求めたのは、自身がデンマークという国家の一構成員として、受動的に米国とデンマークが決定したことに同意したり反発したりするのではなく、米国との直接交渉を可能にする権限を得ることであった。つまり、米国とデンマーク間の国際交渉での合意をどのレベルで受け入れるかを問おうとしたのではなく、基地をめぐる国際交渉プロセスに対等な交渉代表者として係わりうとしたのである。これを日本国内に置き換えるならば、日米政府間の交渉に、沖縄が交渉代表者として直接に参加することを求めたということに等しい。

「イチリック宣言」

被支配者から主体的な交渉代表者に

デンマークは、米国との共犯関係を築いた自身の過去を振り返ると、グリーンランドの意向を無

視することはできなかった。2003年の「イチリック宣言」では、グリーンランドはチュールにかかわる事柄に対して、本国デンマークと同等の立場で影響力を行使することが可能な主体として位置づけられた。もちろん、法的な最終決定権はデンマーク側にあるため、独立国家ではないグリーンランドが単独で交渉を行って決定を下すことはできない。しかし、「宣言」に基づく決定者としての影響力を無視することもできない。実際にグリーンランドは、2004年の国際交渉に参加し、同年、米国・デンマーク・グリーンランドの三者による軍事協定を含む複合協定に調印している。

グリーンランド現地には、「宣言」の実効性に疑問を持ったり、米国のミサイル防衛システムに組み込まれていくプロセスを不安視したりと、多様な意見がある。他方で、主体的に交渉代表者として基地と係わりうとする姿からは、基地の島としての境遇を引き受けようとする様子も垣間見える。それは、2004年の協定が、軍事協力・経済・技術協力・環境協力の三分野から成り立つ複合協定であり、軍事一辺倒のこれまでとは異なる関係性を生み出す基盤として、少なからぬグリーンランド人に好意的に受け止められたことにも表れている。この意味で、これからのチュールには、即時軍事機能をなくすことはできなくとも、それに代わる非軍事的活動を積極的に展開していくことが期待されている。極北の島の行方を見守っていききたい。

Profile

1982年生まれ。立命館大学、グリーンランド大学院を経て、2012年筑波大学大学院博士(国際政治経済学)。著書『自己決定権をめぐる政治学—デンマーク領グリーンランドにおける「対外的自治」(明石書店、2013年)で、2014年度地域研究コンソーシアム登竜賞および日本島嶼学会研究奨励賞を受賞。



雨宮処凜さん、太田啓子さん、奈須りえさん、三浦まりさん ©kayo sawaguchi

2014.
11.22

マガジン9×日本YWCA共催
怒れる大女子会!

グリーン・ウイメンズ・ネットワーク(グリーンピース・ジャパン) W AN (ウイメンズアクションネットワーク) ほか後援

もういい加減にして「オッサン政治」!

だから...2015年春に向けてのキックオフ大集会

満場の東京YWCAホールで熱気あふれる女子トーク

「わたし、怒ってます!あなた、怒ってるでしょう?」という上野千鶴子さんのビデオメッセージとともに始まった「大女子会」。

刊一面で大きく取り上げられたこともあって、会場となった東京YWCAカフマンホールは150名の満員御礼。中に10数名男性が混ざっていた他は、ほとんどが幅広い年齢層の「女子」。2014年12月の衆議院総選挙と今年春の統一地方選を前に、今の政治に対する「怒り」を共有する熱気あふれる会となった。

第一部のリレートークでは、現憲法の危機について各地で憲法カフェを開いている「明日の自由を守る若手弁護士会」の太田啓子さん、原発事故直後より福島県いわき市から親子で自主避難を続けているシンガールのYukariさんとその親友の女性、東京足立区で秘密保護法を考える女子会を立ち上げたママたち、建設予定の山口県上関原発に近い祝島に通って取材を続けている山秋真さんなどが壇上に立ったが、皆がみな、現状を憂い、未来を想って行動を起こした女性たちだった。その中でもっとも心に突き刺さったのは、いわき市の女性の6年生の息子(震災当時2年生)によるビデオメッセージだ。「2年生の3月から、家も学校も友達も、楽しかったことはみんな消えてしまった。原発事故さえなければ、僕らはみんな家族そろっ

て暮らしていた。ヒロシマやナガサキの時と同じ毒が自分の身に降りかかってくるなんて思いもしなかった。原発事故で僕らはたくさんものを失った。どうか僕らが政治を動かせるようになる日まで、大人の私たち、この国を守っててください。そして僕たちに、原発も原爆もない安全な未来を手渡してください」。私たち大人一人ひとりに、このメッセージは向けられている。

第二部は上智大学法学部教授の三浦まりさん、元大田区議・市民政策アナリストの奈須りえさんによるトークセッション、テーマは政治におけるジェンダーバランスだった。女性の政治参加ランキングでは、日本は世界190カ国のうち下から40カ国に入る。国連の推奨割合は少なくとも3割、世界平均は2割超だが、日本は国会で10%前後、地方に至っては女性ゼロの議会が4割にものぼるという。性別・世代をはじめ、社会はさまざま

まな人々で成り立っているのに、その多様性が代表制度に反映されていないのだ。原因は複数ある。小選挙区制になって、議席数から見ると「多数派」なようだが、得票数から見れば「少数」の支持しか得ていない「少数支配」の政治に変質したこと、上から目線で独善的な「オッサン」たちが、当選したことで白紙委任と思込み、独裁的な権力ゲームを行っていること、議会では多数派の会派ばかり質問時間が長くて、少数意見を反映できない仕組みになっていること等である。女性の政治参加を高める策として、クオータ制や議員以外の職業との兼職・復職制度の検討も有効だ。また、政治活動は簡単ではないが、

女同士のネットワークで、各地で女性議員を応援し、女が政治に関心をもっているという発信をしていけば、国政に影響を与えることも可能なのだ。

トークセッション後半には、作家・活動家の雨宮処凜さんも登場。女性や若者の生きづらさについて語った。その後は、各テーブルに分かれてグループディスカッション。全体で3時間半の長丁場でトイレ休憩もなかったのに、疲れ知らずの女子パワーだった。合間には寄席囃子奏者の恩田えりさんによる風刺長唄ショーもあり、笑いでエネルギーを発散したのもよかった。現状に怒りや悲しみ、危機感を感じて集った人たちがこんなにもいて、互いに思いを共有できたことに、参加者はそれぞれ元氣と勇気をもたらしたに違いない。

この「女子会」にも、統一地方選出馬に向けて準備中という若い世代の女性たちが何人か来ていて、一筋の希望を見る思いだった。政治の場にもっと女性を!私たちの思いを届けよう!その思いを強くした会だった。

取材 編集部

地方統一選挙直前企画
怒れる大女子会第2弾!

2015年3月14日(土) 14:30~17:30

@東京YWCAカフマンホール

「奪い合い」から「シェア」する社会へ
~貧困・経済問題を考える~

浜矩子さん(同志社大学大学院教授)

×
雨宮処凜さん(作家)

・ 日本YWCA人材養成部会主催 アジア保健研修所(AHI)¹ 招聘

2014.11.27 女性たちのストーリー

Bangladeshの未来を切り開く、女性パワーの理由



ソケール・バナさん

全4回シリーズで開催された「女性たちのストーリー」。さまざまな現場で活躍する女性たちのライフストーリーを通して、自らの生き方を考えることを目的に開催されたこの講座の最終回は、Bangladesh西部チュアダンガ県から来日した、女性協同組合会長のソケール・バナさんのライフストーリー。食事也十分にとることが出来なかった最貧困の生活環境の中で、女性たちの小さな自助グループを立ち上げ、今では子どもを学校に通わせ、家畜や畑、家を持ち、7千人に拡大した女性メンバーの中から、地位向上のために村会議員を送り出すに至っています。

私は1972年、6人兄弟の末っ子として生まれました。父は日雇い労働者で、家は貧しく、経済的な理由から小学5年生で学校を中退しました。15歳のときに隣の郡出身の男性と結婚し、夫の家で暮らし始めました。

最初の2年は幸せな結婚生活を送っていましたが、それも長くは続きませんでした。夫の兄が義父の遺産を独り占めしたのです。私は夫と5歳の娘とともに実家に戻りました。両親は暮らしに余裕などありませんでしたが、他に選択の余地がなかったのです。

夫は、お金持ちの家で日雇いの仕事を、私は農場で働き始めました。2人で懸命に働きました。しばらくして夫は胃潰瘍になり、仕事を続けることができなくなりました。薬代がかさみ、家計に困窮した私は、村の高利貸しから1万9千500タカ(約3万円)を借りました²。

1日2回の家族の食事にもこと欠きました。私は「昼食付き1日30タカ」の仕事をし、昼食を家族のために持ち帰りました。

そんなとき、村の人の勧めでジャゴラニ・チャクラ財団³による最貧困家庭の女性の開発プログラムに参加しました。保健・栄養・畜産・縫製・女性の権利・自助グループの役割や運営方法・リーダーシップ育成など、さまざまな研修を受けました。

グループでは、2タカを持ち寄って共同貯金をしました。私はそのお金を借りては、収入向上につながる取り組みをしました。牛を飼い、畑を借りて食糧を賄い、裁縫の仕事も始めました。これまで6回、合計4万7千タカを借り、全て返済できました。

今では日に3度の食事をとり、自分の家を持ち、牛1頭、ヤギ1頭、ミシン1台を持ち、1エーカー(約4千㎡)の畑を借りています。それらを合わせた資産は約37万2千タカです。2012年には娘の結婚のために、6万2千タカを自分で立てました。私も夫も他人に雇われて働く必要はなくなりました。自分たちの畑と家畜の世話をし、そこから月々8千タカの収入を得て自由と尊厳をもって生きています。

グループ活動でまず29名のメンバーの中から会計係に選ばれた私は、そこでの仕事ぶりが認められ、その後、7つのグループの代表で構成される自助組織の会計に、さらに33の地域自助組織が集まった7千人のメンバーを持つ中央女性連合の役員になりました。この連合体のオーナーは、メンバーである7千人の極貧の女性たち自身です。現在は、女性協同組合会長を務めています。

私には夢があります。一つ目は、16歳になる娘が高等教育を修了し、将来、レンガ造りの家を建てられるようになることです⁴。二つ目は、地域に暮らす貧しい女性を一人残らず連合の仲間を迎え、誰もが自立し、尊厳を取り戻して生きられるようになることです。女性のエンパワメントを通して、地域の「最貧困」と呼ばれる家庭の権利を回復したい。そのためには団体自体も自立し、持続的な活動ができるようになることが必要だと考えています。

1 愛知県・日進市にある国際協力NGO。アジア各地の村々で人々の健康を守るため、現地の保健ワーカーを育成している。1980年に始まり、約6000人の卒業生がアジア各地で活動している。

2 村での一日の生活費は、日本円でおよそ25円。

3 Jagorani Chakra Foundation (JCF)。貧困と闘う「開発の車輪」の意。1976年、人々の社会的・経済的發展に焦点を当て、社会的に不利な条件におかれた人々や弱い立場の人々のニーズを発信していくために設立されたNGO。職員がAHIの国際研修に参加している。

4 農村の多くの家は土と木で造られており、天災による被害を受けやすい。



ご協力ありがとうございます

賛助費

- 阿部万子 安江惠津 奥平せい子
安田直人 安田真弓 小林貴久美
安倍愛子 皆川悦子 酒井真紀子
吉高 叶 吉田亜希 中山美津江
吉田瑠都 郡 恭子 長尾眞理子
古西正子 三宅香織 宇都宮芳子
小泉航誠 松下起子 田村恵美子
水野雅子 清水暢乃 武井真美子
渡邊京子 湯口 恵 内山伸子
堀江亨子 野田澄子 淀川敬子
鈴木 榮

ピースメーカーズ募金
(平和を創り出す女性のリーダーシップ養成)

- 長山忠雄 小貫ソマ 福田美知子
島本輝子 山下真也 中西トク子
浦野正子 長崎俣久 青木理恵子
田中和子 下村昭子 佐々木國夫
山口暁子 高橋佳子 下条知加子
清水暢乃 矢崎つや 田村めぐみ
古賀公一 武石孝子 仁木三智子
百井幸子 木澤洋子 清水日出子
重内由紀 保野尚子 中島美香
本城智子 泉田芳重 高井恵子
関 嘉子 平松恵子 牧甫
鍛冶田ミドリ

- K・パッチワークの会 中村敦子
日本バプテリスト キリスト教目白ヶ丘教会
日本聖公会東京教区葛飾茨十字教会
日本バプテリスト連盟市川八幡キリスト教会
匿名

災害時支援募金
(国内外の災害被災者支援)

- 清水暢乃 保野尚子 内海公子
熊江雅子 中西トク子
日本キリスト改革派東京福音教会
福岡YWCA (YM/YWCA合同祈
禱通財会)
福島YWCA
エボラ出血熱支援募金
内海公子 金音百合
オリーブの木キャンペーン募金
松岡信子 中島潤子 笈川光郎

- 安田直人 安田真弓 和田素子
板橋幸子 板橋章一 乾 康子
谷池教子 一杉静子 角井桂子
久我輝子 古川道子 村松幸子
隅谷優子 土屋幸子 荒井重人
白田治子 泉田芳重 手島十景
井出 都 鶴崎祥子 岸岡芳美
田中唯彦 鈴木 伸 太田晃一
田中良明 重内由紀 武田敏昭
林育一郎 狩野雅美
上田京子 遠山雅美 清水 南
平野晶男 川上 哲 水嶋光子
小田 絢 野澤節子 太田玲子
吉田ゆみ 原美左恵 富岡美知子
湯口 恵 浅原千代 木田みな子
吉田道子 平井純子 石塚多美子
国中正人 吉田雅一 市川真美恵
熊江雅子 芝家直子 永井千代子
平野晶男 河野章子 中村美南子
小泉航誠 中峠由里 横山千枝子
野呂幸子 小谷充子 有田楠華子
清水暢乃 渡邊京子 高木みづ枝
秋元純子 眞眞紀子 本本みづ枝
三宅純子 阿部有二 丹羽四方子
小泉孝典 小泉美紀 伊藤いく代
北垣景子 伊藤 優 仁平のぞみ
桑原貴子 松下俱子 伊藤まさと
坂和 優 小村明子 村越枝美子
井原圭子 小林多美 宮城崇美子
戸田照枝 稲垣美栄子
大滝由佳子 衆 みち代

- 日本基督教団阿佐谷恵み伝道所
星野輝子
日本聖公会清瀬聖母教会 井口 諭
東京YWCA 聖書を讀む会
東京YWCA 国領センター
松山YWCA 福島YWCA
一般財団法人平塚YWCA
(東日本大震災被災者支援募金)
ビーチリボンキャンペーン
谷山幸子 桐村巨子 八木高子
水野潔子 中島潤子 一杉静子
久我輝子 保野尚子 野崎昭弘
角井桂子 村松幸子 汐崎康子
庄子泰子 郡 恭子 小泉陽子
高柳博一 上嶋貴之 白田治子
手島千景 石川松子 宮澤玲子

- 森 晶子 比企敦子 井出 都
野呂幸子 小谷充子 戸田照枝
清水暢乃 阿部万子 藤田ナツ子
佐藤 保明 和代 武内富貴代
田中唯彦 伊藤 優 石塚多美子
内山康一 内山佳子 黒田とめ子
和田妙子 中峠由里 宮城崇美子
笈川光郎 阪本和子 露木美奈子
帆足道子 常葉優子 大田八千代
千葉 眞 和田孝子 市川真美恵
本山陽子 高橋 馨 木田みな子
乾 康子 秋元靖子 富岡美知子
板橋幸子 板橋章一 有田楠華子
松田和子 大野綾子 布村美弥子
飯田恵子 眞眞紀子 伊藤いく代
首藤和子 片山 恵 仁平のぞみ
安江惠津 田村セツ 三崎たづ子
小松郁美 深田光代 近藤真由美
島田麗子 松下俱子 高月三世子
川上静子 北垣景子 八重樫照代
毛利亮子 河津 緑 多喜百合子
小村明子 井原圭子 多喜百合子
大館香織 眞野あや 田中美智子
江副富子 山本鉄子 長尾眞理子
杉原壽子 小林多美 渡辺寿美子
丸田昭江 古川道子 吉田くすほみ
J・E・ランダス 衆 みち代
一般社団法人マジジン9
こひつじ保育園 横浜共立学園
大森ルーテル教会付属幼稚園
日ノ本学園高等学校
東洋英和女学院同窓会
日本キリスト改革派高知教会 婦人会
日本キリスト教団松沢教会 婦人会
日本福音ルーテル大牟田教会
日本福音ルーテル大森教会
日本キリスト教団市川三本松教会
呉YWCAを支える会
東京YWCA お弁当とお菓子作りの会
福島YWCA 甲府YWCA
松山YWCA 熊本YWCA
匿名
日本YWCA指導者養成寄付金
福島YWCA

- 2014年10月21日〜2014年12月20日現在(敬称略)

「バカ」でもいい

捜真女学校YWCA顧問 杉山知子

映画が大好きです。なかでも中国関連の映画は香港アクションを手始めにほぼ観つくし、日本YWCAの「南京を考える旅」に参加した際には映画の話題を通じて中国に友人が与えられました。お気に入り映画のロケ地近くで行われたボランティア活動にも参加し、その地域で暮らす少数民族の女の子に奨学金支援を始めました。

ここ数年はインド人俳優SRKことシャールク・カーンに夢中です。敬虔なイスラム教徒であるSRKが、一部の人々の過激な行為のためにイスラム教が敵視されることに心を痛め、「マイネーム・イズ・ハーン」という映画を作りました。米国の「同時多発テロ事件」を背景に、民族・宗教・障がい等で生じる分断を愛で克服する物語です。

優れた映画には必ず平和への祈りが込められていて、これまで多くを学び多くの示唆を得ました。しかし、私の意識を決定づけたのは、いわゆる「B級」に属する「宇宙人Wさんとの遭遇」というイタリア映画です。ローマで王と名乗る宇宙人が捕獲され、地球を侵略しに来たと疑われて軍の地下室で尋問されますが、地球人と仲良くなるために地球上で最も多く話されている中国語を学んだのだと言い張ります。通訳の若いイタリア人女性に拷問されるWさんに同情し、必死で脱出を手伝いますが、外に出てみると宇宙船の攻撃が…。果然と立ちすくむ女性にWさんはひとこと、「おまえ、バカだな」。私も呆然とし、しばらく動けませんでした。やがて決意しました。「バカ」でもいい。結果的に裏切られても他者を信じて力を尽くしたこの女性のように、私は平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して命を選びたい。